

下水道事業特別会計

平成 27 年度 下水道事業特別会計

【概 要】

平成 28 年度から地方公営企業法を適用することから、地方公営企業法施行令第 4 条第 1 項の規定に基づき平成 28 年 3 月 31 日をもって「打ち切り決算」を行いました。

経理状況は、歳入 4,559,594,348 円、歳出 4,246,240,537 円、収支差引額 313,353,811 円となりました。

(1) 歳入内訳

受益者負担金は 198,477,113 円、使用料等の事業収入は 1,569,404,421 円、国庫補助金は 153,400,000 円、下水道事業債は 260,500,000 円、諸収入は 68,956,784 円（うち流域下水道維持管理費精算返還金 63,241,985 円）、他会計及び建設基金からの繰入金は 2,268,664,000 円、財産収入は 1,965,873 円、繰越金は 38,226,157 円です。

(2) 歳出内訳

下水道費 1,533,732,870 円（うち総務管理費は 279,291,314 円、下水道事業費 511,442,576 円、下水道維持管理費 742,998,980 円）下水道債償還となる公債費は 2,712,507,667 円です。

2 下水道整備概要

(1) 下水道事業の整備面積は 3,088 ヘクタールで、うち犀川安曇野流域下水道関連安曇野処理区が 2,958 ヘクタール、公共下水道明科処理区は 130 ヘクタールとなっており、平成 27 年度の整備面積は 10.2 ヘクタールで下水道整備率は 83.6 パーセントになっています。

(2) 下水道への接続件数及び水洗化人口は安曇野処理区 66,880 人、明科処理区 3,843 人で水洗化率は 80.6 パーセントになっています。

3 下水道整備・普及状況

処理区名	全体計画面積	認可面積	供用面積	整備面積	整備率	管渠延長
豊科処理分区	974.9ha	974.9ha	942.7ha	942.7ha	96.7%	198.9km
穂高処理分区	1,578.0ha	1,554.7ha	1,071.1ha	1,071.1ha	67.9%	280.0km
三郷処理分区	549.8ha	549.8ha	541.8ha	541.8ha	98.5%	142.8km
堀金処理分区	459.9ha	409.9ha	402.0ha	402.0ha	87.4%	96.3km
安曇野処理区計	3,562.6ha	3,489.3ha	2,957.6ha	2,957.6ha	83.0%	718.0km
明科処理区	130.0ha	130.0ha	130.0ha	130.0ha	100.0%	43.2km
合 計	3,692.6ha	3,619.3ha	3,087.6ha	3,087.6ha	83.6%	761.2km

処理区名	行政処理人口	処理人口	水洗化人口	普及率	水洗化率
豊科処理分区	27,832 人	27,720 人	23,759 人	99.6%	85.7%
穂高処理分区	33,909 人	27,595 人	19,547 人	81.4%	70.8%
三郷処理分区	18,619 人	18,459 人	16,023 人	99.1%	86.8%
堀金処理分区	9,299 人	9,266 人	7,551 人	99.6%	81.5%
安曇野処理区計	89,659 人	83,040 人	66,880 人	92.6%	80.5%
明科処理区	8,596 人	4,748 人	3,843 人	55.2%	80.9%
合 計	98,255 人	87,788 人	70,723 人	89.3%	80.6%

4 使用料（現年）

調定額	収入済額	収納率
1,589,107,366 円	1,557,861,589 円	98.03%

平成 27 年度不納欠損状況

平成 28 年 3 月 31 日

不納欠損事由	件数（人）	金額
地方税法第 15 条の 7（執行停止）	330 件（95 人）	2,020,626 円

※内訳：無財産者 170 件（45 人） 1,002,089 円
 生活困窮 58 件（10 人） 408,992 円
 所在不明者 87 件（32 人） 487,558 円
 滞納している法人が廃業し、事実上再開が認められないもの 15 件（8 人）
 121,987 円（地方税法第 15 条の 7 第 5 項）

}（地方税法第 15 条の 7 第 1 項）

平成 28 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	362
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	一般管理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100009	一般管理費		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①
516,912,000	279,291,314	0	237,620,686	54.03%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
	細節名		細節名	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ・ 公共下水道関連施設（処理場、マンホールポンプ場、雨水ポンプ場、管渠等）の維持管理を（公財）長野県下水道公社に委託しました。（H28 債務負担行為）
下水道処理施設等維持管理業務委託 委託料 90,364,364 円
- ・ 下水道施設の運転、故障等を遠隔監視するシステムの運用を委託しました。
下水道施設等広域監視業務委託 委託料 3,758,400 円
- ・ 下水道管路施設をGISシステムで管理するため、前年度の下水道本管整備箇所及び開発に伴う管路施設の台帳データ作成業務を委託しました。
下水道台帳データ作成作業業務委託 委託料 20,844,000 円
- ・ 下水道事業会計を公営企業会計に移行するため、資産調査等の支援業務を委託しました。
下水道事業企業会計移行業務委託 委託料 13,062,000 円
- ・ 公営企業会計システムの構築及び導入業務を委託しました。
公営企業会計システム導入業務委託 委託料 11,232,000 円

上記の評価と課題等

処理場をはじめとした下水道施設は施工から年数が経過したことから、修繕費等の維持管理経費の増大が見込まれますが、適正な運転管理により経費の節減を図ります。

平成 28 年度からの下水道事業の地方公営企業法適用に向けた支援業務委託により、管渠・処理場といった資産の調査を実施しました。また、企業会計システムの導入を行いました。

- ・ 下水道事業の地方公営企業法適用に伴い打ち切り決算を行いました。

平成 28 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	364
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	5	受益者負担金徴収費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100180	受益者負担金徴収費		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①
67,179,000	65,456,436	0	1,722,564	97.44%
特定財源の合計金額	左記の内訳 細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

下水道事業受益者負担金の公平・公正、適格な賦課及び徴収に努めました。

受益者負担金・受益者分担金分担金

(1) 現年

地域名	賦課件数	収入済額	収納率
豊科地域	982 件	12,853,000	98.89%
穂高地域	5,258 件	120,800,750	94.51%
三郷地域	624 件	8,274,900	97.74%
堀金地域	240 件	4,318,860	93.75%
明科地域	15 件	1,212,400	100%
区域外	40 件	17,895,200	95.31%
計	7,159 件	165,355,110 円	95.07%

(2) 滞納繰越分については区域外を合わせて、33,122,003 円を徴収いたしました。

平成 27 年度不納欠損状況

平成 28 年 3 月 31 日

不納欠損事由	件数	金額
国税徴収法第 153 条及び 都市計画法第 75 条 7 項	226 件 (28 名)	6,490,248 円

※生活困窮及び無財産また所在不明により、執行停止（地方税法第 15 条の 7 第 1 項）が行われており 3 年経過前に時効が到来したもの。 202 件 (26 名) 5,556,848 円

※執行停止後 3 年経過したもの。(地方税法第 15 条の 7 第 4 項) 24 件 (2 名) 933,400 円

上記の評価と課題等

滞納繰越分の未収金を大幅に縮減することができました。

残る未収金 99,604,890 円について、時効管理を徹底し、早期に滞納処分をすることで、さらなる滞納額の縮減に努めます。

平成 28 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	366
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	3	下水道維持管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	下水道維持管理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100240	下水道維持管理費		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①	
808,659,000	742,060,714	0	66,598,286	91.76%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・明科浄化センターで発生する脱水汚泥（脱水ケーキ）をセメント原料として再利用を図るため運搬及び処分をそれぞれ委託しました。

委託料 6,105,971 円

・マンホール周りの補修等維持工事を実施しました。

工事費 8,402,400 円

・長野県が管理運営している犀川安曇野流域下水道安曇野終末処理場の維持管理に係る経費を負担金として支出しました。

負担金 726,882,671 円

上記の評価と課題等

明科浄化センターの維持管理を適切に行い発生する汚泥の減量に努めるとともに、脱水汚泥を有効利用するため、セメント原料として継続して処分を委託しています。

下水道は道路に埋設されていることから、交通に支障をきたさないよう適切な維持管理に努めます。

・下水道事業の地方公営企業法適用に伴い打ち切り決算を行いました。

平成 28 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	366
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	3	下水道維持管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	合併浄化槽維持管理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100290	合併浄化槽維持管理費		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①
2,029,000	938,266	0	1,090,734	46.24%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
	左記の内訳			
	左記の内訳			
	左記の内訳			

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ・豊科大口沢地区に設置した合併処理浄化槽の維持管理を行いました。
浄化槽汚泥引抜き清掃手数料 役務費 654,750 円

上記の評価と課題等

設置から経年劣化によりブロー等の設備修繕の増加が予想されますが、適正な維持管理を継続します。

- ・下水道事業の地方公営企業法適用に伴い打ち切り決算を行いました。

平成 28 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	366
------------	-----

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	元金		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100300	下水道事業債償還元金		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①
1,975,808,000	1,975,230,238	0	577,762	99.97%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
198,477,113	公共下水道事業受益者負担金	147,459,910	区域外流入負担金滞納繰越分	1,570,000
	公共下水道事業受益者負担金滞納繰越分	31,552,003		
	区域外流入負担金	17,895,200		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

下水道事業計画に基づき整備した施設の建設費に充当した下水道事業債の元金を償還しました。

上記の評価と課題等

施設整備が終盤となり借入額は減少していますが、今後数年は償還のピーク時期を迎えることから、一層の健全財政運営を図ります。

平成 28 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	366
------------	-----

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	利子		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100320	下水道事業債償還 利子		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①
737,950,000	737,277,429	0	672,571	99.91%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
	左記の内訳			
	左記の内訳			
	左記の内訳			

主要な施策（事務事業）の成果の概要

下水道事業債の利子を償還しました。

上記の評価と課題等

施設整備が終盤となり借入額は減少しているが、今後数年は償還のピーク時期を迎えることから、一層の健全財政運営を図ります。

平成 28 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	366
------------	-----

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	利子		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100340	一時借入金利子		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①	
600,000	0	0	600,000	0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

一時借り入れの実績はありませんでした。

上記の評価と課題等

平成 28 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	368
------------	-----

予算	款	3	予備費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	予備費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100350	予備費		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①
2,879,000	0		2,879,000	0.0%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
		金額	金額	金額
		金額	金額	金額
		金額	金額	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

予備費支出の実績はありませんでした。

上記の評価と課題等

平成 28 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	下水道整備担当

決算書 ページ	362
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	国庫補助事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100060	国庫補助事業費		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①	
102,800,000	102,694,000	0	106,000	99.90%	
特定財源の合計金額					
102,694,000	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
		下水道事業費国庫補助金	51,300,000		
		下水道事業債	46,100,000		
		公共下水道事業受益者負担金	5,294,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

穂高地域の牧離山地区と北穂高地区の下水道管渠整備及び下水道工事に伴う舗装復旧工事を行いました。

- 工事請負費 61,376,400 円 管渠 L=454m 舗装復旧 A=6,644 m²
- 委託料 1,317,600 円 管渠工事施工監理業務 1 箇所
- 建設負担金 40,000,000 円 道路管理者に支出する舗装本復旧負担金

上記の評価と課題等

下水道整備も終盤を迎え順次事業効果が発現しています。
平成 30 年度整備完了を目途に事業執行を図っていきます。

平成 28 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	下水道整備担当

決算書 ページ	362
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	特定環境保全事業		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100110	特定環境保全事業		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①
205,100,000	205,014,000	0	86,000	99.96%
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	金額
205,014,000	左記の内訳	特定環境保全公共下水道事業補助金	102,100,000	
		下水道事業債	91,800,000	
		公共下水道事業受益者負担金	11,114,000	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

穂高地域の有明地区と牧地区の下水道管渠整備及び下水道工事に伴う舗装復旧工事を行いました。

- 工事請負費 167,432,400 円 管渠 L=1,774m 舗装普及 A=12,720 m²
- 委託料 7,581,600 円 管渠工事施工監理業務 3 箇所
管渠詳細設計 L=588m
- 建設負担金 30,000,000 円 道路管理者に支出する舗装本復旧負担金

上記の評価と課題等

下水道整備も終盤を迎え順次事業効果が発現しています。
平成 30 年度整備完了を目途に事業執行を図っていきます。

平成 28 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	下水道整備担当

決算書 ページ	364
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	3	市単独事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100120	市単独事業費		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①	
71,330,000	70,356,840	0	973,160	98.64%	
特定財源の合計金額					
70,356,840	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
		下水道事業債	58,600,000		
		公共下水道事業受益者負担金	6,780,200		
		下水道管移設に伴う補償料	4,976,640		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

汚水量が基準に達していないため交付金事業対象にならない末端管渠等を整備しました。

- 工事請負費 45,327,600 円 管渠 L=463m 舗装復旧 A=3,957 m²
- 委託料 6,270,480 円 管渠詳細設計 L=660m 管渠工事施工監理業務 3 工区
- 建設負担金 10,500,000 円 道路管理者に支出する舗装本復旧負担金
- 補償金 8,258,760 円 下水道工事に伴う上水道管移転補償

上記の評価と課題等

下水道整備も終盤を迎え順次事業効果が発現しています。
宅地点在地については合併処理浄化槽補助事業と連携し、効率的な汚水処理を検討します。

平成 28 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	下水道整備担当

決算書 ページ	364
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	3	市単独事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4190010	[事故]市単独事業費		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①
13,000,000	12,976,800	0	23,200	99.8%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
12,300,000	下水道事業債	12,300,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

道路管理者である長野国道事務所との協議等に不測の日数を要したため繰越を行った事業について、整備を完了しました。

平成 26 年度（市単）公共下水道田沢工区公共ます設置工事

- ・ 取付管推進工による取付管布設及び公共ます設置工事 3箇所

上記の評価と課題等

平成 28 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	下水道整備担当

決算書 ページ	364
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	4	流域下水道事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100170	流域下水道事業費		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①	
54,945,000	54,944,500	0	500	100%	
特定財源の合計金額					
54,944,500	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
		下水道事業債	51,700,000		
		公共下水道事業受益者負担金	3,244,500		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

長野県が事業主体となり実施している犀川安曇野流域下水道事業の汚水処理施設建設費の一部を建設負担金として支出しました。

○建設負担金 54,944,500 円 中央監視制御装置の更新、水処理 5 系列覆蓋工事

上記の評価と課題等

今後も流域下水道事業計画に基づき建設負担金を支出します。